

香陵公園周辺整備基本計画(案)に関する意見募集の結果について

「香陵公園周辺整備基本計画(案)」について、パブリックコメントを実施したところ、市民の皆様から貴重なご意見・ご提言をいただきました。ご協力ありがとうございました。

いただいたご意見・ご提言及び市の考え方、計画への反映については、下記のとおりとさせていただきます。

(ご意見・ご提言は一部を整理、要約しています。)

なお、計画書の公表にあたり、趣旨の明確化や適正化により、修正を行っている箇所もあります。

番号	箇所	意見の内容	市の考え方	修正の有無	提出日
1	P13 4-8-3 新駐車場	現在、市民文化センターにおけるイベント主催者専用の駐車場は一般利用者用の駐車場と混在しているため、イベント終演後の出庫が思うようにならないなどの不便を強いられている。両駐車場を分離することで主催者側の必要台数が確保され、利便性も向上することから、イベント主催者にとっても利用のしやすい施設になると考える。	駐車場については、今後も新市民体育館、市民文化センター及び市役所における様々な利用想定を行うとともに、様々な立場の方の利用がより円滑となるよう、民間事業者のノウハウを活用したハードとソフトによる効果的な対応を検討していきます。	無	H29.8.1

2	<p>P6 【整備後の計画地内における地域防災計画の位置づけ(予定)】</p>	<p>災害のことを考えてとなっているが、そのために体育館というのは短絡的ではないかと思う。</p> <p>現状の沼津市の財政を考えると、費用圧縮が急務ではないか。</p> <p>千本小学校、第二中学校を整理し、双方の校舎、体育館を市の体育館とし、これでグラウンド、テニスコート併設の体育施設ができる。現在の体育館、総合庁舎に市役所を移転、文化センターのみ建て替えはリフォームなどで行う。</p> <p>香陵武道場などは取り壊し、駐車場にあてる。現在の市役所駐車場も建て替え、文化センターの駐車場不足に対応する。駐車場を立体にするのであれば防災関連で利用できる可能性がある。</p> <p>建設が予定されているらば一とも防災協定を締結し利用することで、箱ものをもたない対策もできる。</p>	<p>新市民体育館の建設を予定する計画地は、沼津駅から約1kmの中心市街地に位置し、市役所や市民文化センターが隣接して立地していることから、新市民体育館の建設に合わせて一体的な整備を行うことで、市民の日常におけるスポーツ及び文化芸術活動の拠点等として、中心市街地の活性化に寄与する地区とすることを目指しています。現在の市民体育館は老朽化や耐震性の不足から早期の建て替えが期待されており、新市民体育館は、市民の日常におけるスポーツ・健康づくりの拠点はもとより、災害時には地域の安全で安心な生活を支える場として、指定避難所等の防災機能を有することとなります。</p> <p>本計画における取り組みのひとつとして、財政負担の軽減を掲げており、民間事業者のノウハウを活用することでイニシャルコストのみならず、ランニングコストにも着目した施設計画を立案することで、ライフサイクル全体でコストの軽減を実現していきます。</p> <p>学校施設等の再配置や跡地利用については、沼津市ファシリティマネジメント計画や児童生徒数の減少に伴い沼津市立小・中学校の適正規模・適正配置の基本方針などを策定しております。適正化を実施する地域については、地域や学校関係者を委員として、広く意見を聴く中で学校施設を含め地域の実情に応じた適正化により、教育環境の整備を図っていきます。</p> <p>香陵武道場や旧香貴駐車場(立体)は除却することで、本事業の貴重な計画地の一部として跡地の利活用を図ります。</p> <p>防災については、沼津市地域防災計画をはじめとする行動計画等のもとで各施設の位置づけや新たな防災協定の締結などを促進し、災害に備えてまいります。</p>	無	H29.8.7
---	---	--	---	---	---------

3	P6 【整備後の計画地内における地域防災計画の位置づけ(予定)】 指定避難所	先の東日本大震災では、被災者の避難所となる体育館において、床からの冷えが避難者の強いストレスになったという報告がある。特に、小さなお子さまや高齢者といった方々は、敏感であり、避難所でのストレスを少しでも軽減するため、停電時にも使用できる都市ガスまたはプロパンガスを燃料とする冷暖房としてはどうか。	避難所となる新市民体育館には、停電時の冷暖房を幾つかの諸室で確保していく考えであることから、乳幼児や介助を必要とする方への対応については、諸室を割り当てるなどの想定も踏まえ、引続き、冷暖房の確保について検討していきます。	無	H29.8.9
4	P11 4-6-3 災害対応用電源	大規模災害時に油燃料の供給に支障が生じることは、先の東日本大震災で経験している。油燃料に限定することなく、燃料の多重化といった視点も必要ではないか。	常用電源は、商用電源を基本に他の電源供給も可能となるよう検討していきます。災害対応用電源は、商用電源やガスなど全てのライフラインが途絶えた場合に電源を確保する方策として、基本的に常時備蓄することで自立が可能な油燃料による自家発電設備を設置することとしています。また、常用電源の供給が被災時に被害を免れたり、被災後に復旧すれば活用できるなどの想定も踏まえ、電源供給の確保については、1つの燃料に偏ることなく、異なる燃料による組み合わせを検討していきます。	無	H29.8.9

5	<p>P8 4-4 施設配置と動線計画</p> <p>P13 4-8-3 新駐車場</p>	<p>①駐車場</p> <p>駐車場は特にアリーナ席、大、小ホール使用時の人員、入庫車数のシュミレーションをしていただきたい。大ホール前の広場等を有効活用して、東側広場(公園)予定地を駐車場にすれば数十台以上捻出できる。広場は香陵公園全体の中でレイアウトをすればいいし、とって付けたような死にスペースにならないようにする。有人料金所を自動に切り替え廃止し、その人工は場内整理等で対応する。事前精算システムの導入により出庫時の渋滞を緩和してほしい。駐車スペースのレイアウトは台数を増やすことに終始しないで利用者の利便性を重視してほしい。場内の渋滞緩和のための動線をよく検証してほしい。特に大型車両の出入り、駐車スペースは慎重に計測してほしい。</p> <p>国道414号から文化センター入口手前までに体育館への乗用車の入口や、内膳上堀中間部に乗用車の出口の増設も検討してほしい。</p>	<p>特に多くの人々が来場することが予測される場合における駐車場を起因とする渋滞の緩和については、沼津駅南口からのバス等の公共交通機関や民間駐車場の利用の促進のほか、事前精算機の設置や周辺道路への交通整理人の配置等も含め、検討を重ねてまいります。</p> <p>出入口については隣接地にお住まいの皆様のご生活への配慮を第一に考えつつ、検討をしていきます。</p>	無	H29.8.9
6	<p>P8 4-4 施設配置と動線計画</p>	<p>②出入口を含む周辺交通環境</p> <p>歩道橋から南進方向へは左折用一車線増やすことにより、渋滞緩和。市役所南交差点から東進、文化センター方向へも左折用一車線を増やすことにより渋滞緩和。いずれもその車線確保のため、公園敷地から都合する。特に南西角は東進車が直進であるのに右カーブとなっているので、駐車のための渋滞時は反対車線二車線があり進行が危険である。</p> <p>北出口は周辺に商店、民家、病院、駐車場があり、市役所信号待ちと重なって渋滞あり。信号の時間間隔など調整が必要である。</p>	<p>新市民体育館及び新駐車場(立体部)は、都市計画法で定める用途地域のひとつである近隣商業地域に敷地の過半が属する必要がある、車線数の増加による敷地の減少はこの条件を満たすことが困難になると考えております。</p> <p>周辺道路や施設への影響については、関係機関の意見も踏まえて検討を進めます。</p>	無	H29.8.9

7	P3 1-4-3 人がつながる 交流の場	<p>③その他</p> <p>アクセスについては車が議論の主流になっているが、コンサート鑑賞に加えてアリーナ観戦が増えるので沼津駅からのバス利用の促進、徒歩の促進も啓蒙してほしい。</p> <p>単に体育館、公園整備(ハード)ではなく、多くの人々が足を運んでくれる、利用者、住人の満足のためのソフト面の総合プロデュースを期待する。</p>	<p>本計画の目的である中心市街地の活性化や回遊性の向上が実現されるよう、徒歩や公共交通機関の利用を推進していきます。</p> <p>計画地は、各施設を含めて日常においても1年を通じて継続的に賑わいが創出されるよう、検討を進めます。</p>	無	H29.8.9
---	-------------------------	---	--	---	---------